

妄想ログ
04



対魔忍鬼崎きららよ

おお、あなたが！

対魔忍の方に警備して
いただけるとはありがたい！

ここが例のパーティー会場……
見た感じは普通……
全て情報の通りね……

しらじらしいキモオヤジね……
アンタが裏で魔族と結託して
無関係の人を闇の世界に
墮としてるのはわかってるのよ

絶対に尻尾を掴んでやるわ

ええ、この会場の安全は
必ず保証します

是非ともよろしく
お願いしますよ？

ニヒッ



くくくつ残念だったのう
ワシのことを探りに来た
ばっかりに……

こちらの狙いは元々
キミだったのだよ
鬼崎きらら君



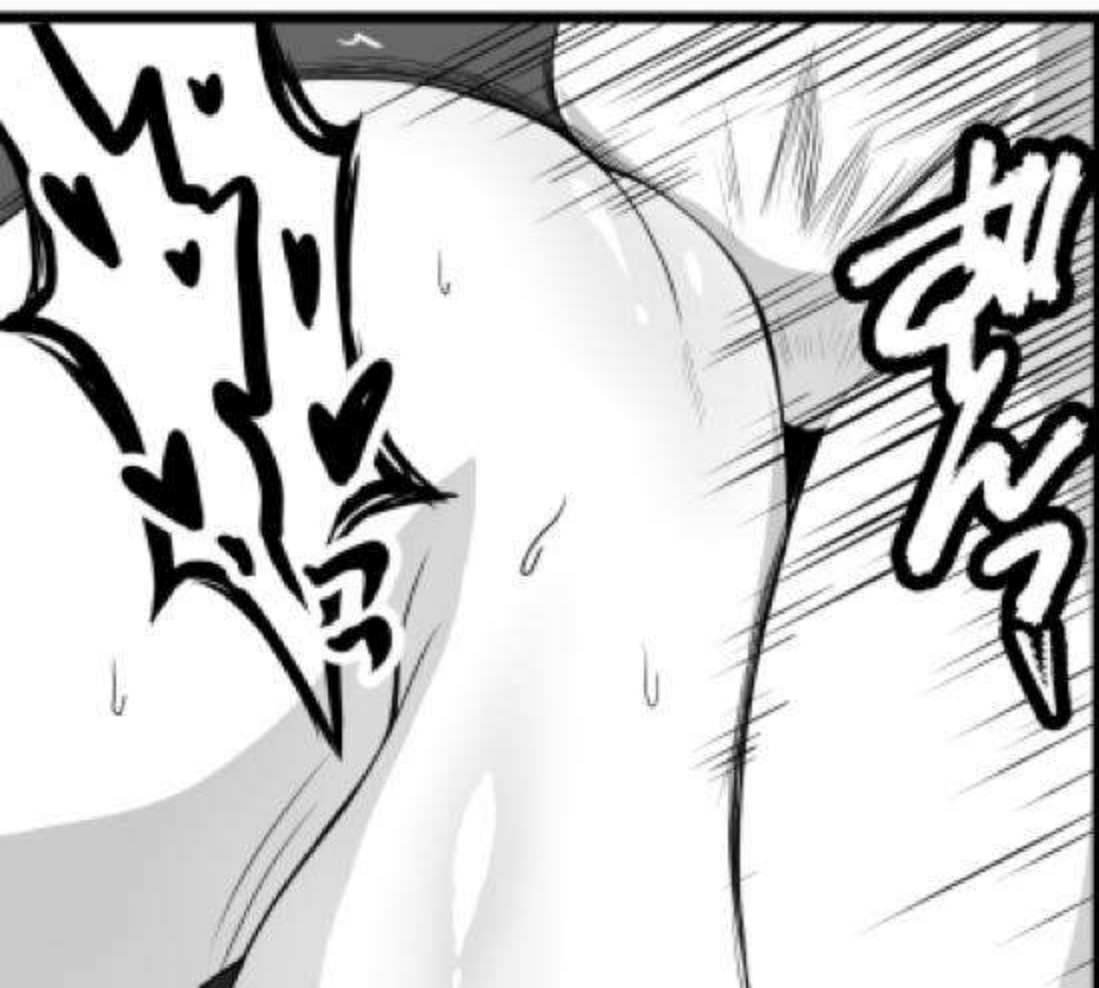
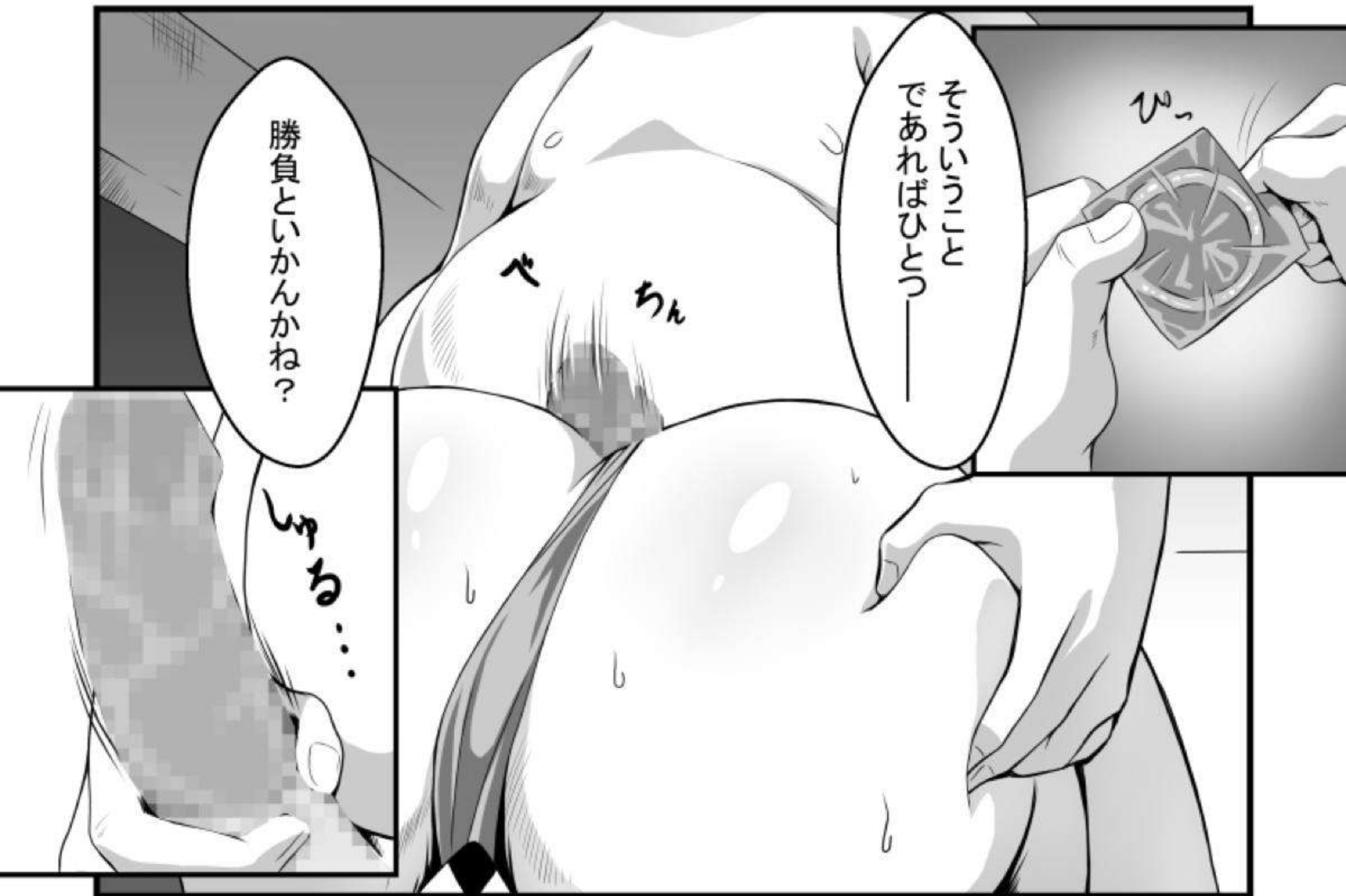
セックスで快楽を
得るほどに

チンポが欲しくて
たまらなくなる……



淫魔族特製の
淫紋は効くだろうか？

これでキミは年中
強烈な発情状態だ……



制限時間は5分間……
その間にこのチンポを
お前さんが自力で引き抜けば勝ち

淫紋も消してやろう
その後は始末するなり
好きにすればよい
その代わり——



出来なければこの先
全て生ハメにする

どうだ？今のままでは
力を使うこともままならんだろう？
状況を変えるチャンスだと思おうがのう

05:00





そらどうした？

もう一分
経ってしまったぞ
残り4分

う、うるさいわねっ！



おお危ない危ない
もう少しで抜けて
しまおうところだった



こんなものっ
ちよつと太くて
キモチイイとこ抉って
くるだけ……

のろ……



ほお……

！！！！



なによ……結局つアンタが
セックスしたいだけじゃない！

ハァッ

ハァッ

どうするね？

一度射精してしまえば
萎えて抜けやすくなる
かもしれんが……



さつきからものすごく
吸い付いてくるぞ？
これでは引き抜くのは
難しいかもしれんなあ

ま……



おおおっ

18



お、お……？

だったら……！
フニフニ



おほっ搾り取りに来たか
エロい尻遣いだのう

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

いきなせしめろー！
いきなせしめろー！

おん

おん

うっっつ中で
引っかかっつてっつ

意識飛びそっつ...

でもっ負けなないっつ

負けにやいっつ

負けっつ...あっつ♥

出す
おっ

イク...♥♥







さて
約束だ……



はっはっ残念だったのう
もう少しだったか



楽しい生ハメタイムと
行こうじゃないか……

はっはっ

はっはっ

ザク

……おっはっ……

……おっはっ……
♡♡

はっはっ

はっはっ

はっはっ

はっはっ



ウソっ
さっきまでと全然違うっっっ♥

くくくっナマの感触は
格別だろうか？

おっ
おっ
おっ



おっ
おっ
おっ



おっ
おっ



チンポの形がわかる

おっ
おっ
おっ



おっ
おっ
おっ

オチンポとザーメンの味

アッ

この感触を
しっかりと
お前のナカに
刻んでやるからな

カッ
カッ

オマンコが覚えちゃう♡

あゝ

あゝ

まずは中出しで
イクことを覚えろ

アッ

アッ
アッ
アッ

ダメええええ

♡♡♡♡



ふう、やはりセックスは
ナマ出しに限るのう

ずうあ

中出し・・・
なんでっこんな
気持ちいいのよおっっ



くっつへばっている
暇などないぞ？

これから夜通し
ハメ倒すのだからな



このままじゃ私・・・本当に・・・♡

一週間前

ええ!? アンタ明後日には
もう次の任務なの!?

ええ、まあ……

はあまったく……
アサギ先生も
人使い荒いわね……

任務終わったばかりなのに……

先輩も来週には
潜入任務ですもんね

……すみません本当は
俺も一緒に行けたら
良かったんですけど

潜入とはいっても
やっぱり闇組織には
危険も多いですし

はあ? 生意気
アンタの方が弱いんだから
人の前に自分の心配
しなさいよね!

は、はあ……
すみません……



何その反応

い、いや二人つきりって
改めて言われると
恥ずかしいっていうか...

っっあせ
あせ



まあアンタがどうしても
私と一緒にいたいって
言うのなら

次の任務の後
どこか連れてって
もらおうかな
二人つきりで♥

んんん!!

ガハッ



ちゃんとエスコート
しなさいよね
ふうま♥

じゃあ決まりねっ
ふふっご褒美デート
期待してるからっ



なによ今だって
そうでしょ

それは...
そうですけど

ははははは



クククッ
ワシが見立てた通り
何度突っ込んでも
飽きの来ない肉壺よ



母乳が出るように
なるのが楽しみだ



そしてこの爆乳！

この吸い付くような
柔らかさ



その通り
ワシはただの
卑怯な男よ



ち、調子に乗らないでよ
魔族の力を借りなきや
女一人抱けないクセに



この高揚感
は
やめられんて

だが...だからこそ
お前さんのような
極上のメスを手に
入れられる

し...し...

ははははははは

チンポが子宮に
キスしてるの
わかつちやう

ダメなのに
コイツのチンポが
キモチイイっつ

あーっ
あーっ
あーっ

あーっ
あーっ
あーっ

悔しいー
淫紋なんかなければ
こんなヤツ...

あーっ
あーっ
あーっ

あーっ
あーっ
あーっ

そうよっ
これは淫紋のせい...

あーっ
あーっ
あーっ

あーっ
あーっ
あーっ

あーっ
あーっ
あーっ

だから私は...

あーっ
あーっ
あーっ

あーっ

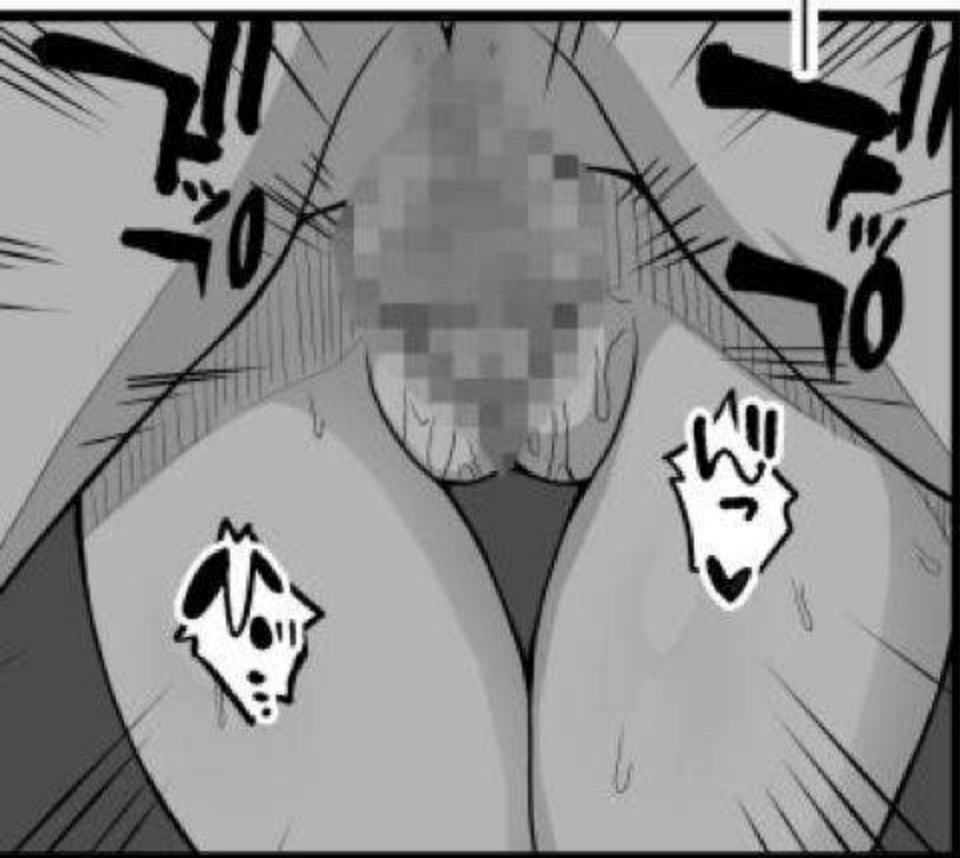
あーっ

あーっ

あーっ
あーっ
あーっ



淫紋のせいだから――



何度イカされたって――

どんなに気持ち良くて……!!



だからあつっ!!

私はまだ

カウウウウウウウウ
カウウウウウウウウ

カウウウウウウウウ
カウウウウウウウウ

カウウウウウウウウ
カウウウウウウウウ

大丈夫

カウウウウウウウウ
カウウウウウウウウ

大丈夫

ボウ...









一気に奥まで...!!!



セックスさえしななければ
アムタなんて...!!!

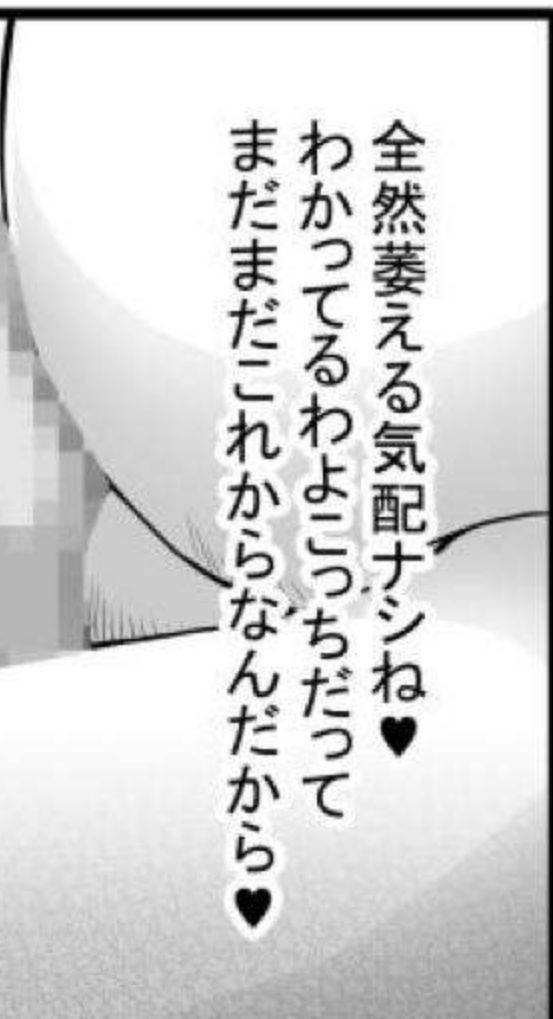


う...おお
喉が締まって
たまらんぞ

ふふ、効いてる効いてる
情けなくチンポ
震わせちゃって



ほらさあさあ
イキなさいよ...



全部搾り出して
アソタのキンタマ
空っぽにしてやるから

ギャッ!

さっき射精したばかりなのに
もう我慢汁べちよべちよじゃない♡

ん...

おろろ

たぎッ

ほらっほらっ
気持ちいいんでしょ?

おんん

おんん

グツグツに貯まったザーメン
もっと出しなさいよ♡

たぎッ



もっふふ...



もっふふ...

むに



私がアンタのニと骨抜きにしてやるんだから♡



気持ちいいんでしょ？
もっふふ♡
射精しなさい♡

ちゅぽ
ちゅぽ

スウウウ
スウウウ
スウウウ
スウウウ

数日後

よく似合ってるぞ
きらら

こんなもの着せるなんて
一体なんのつもり？

こいつ、もう私に
メロメロみたいね♥

へ、へえ……
素敵じゃない

見てなさい
調子に乗ってられるのも
ここまで——

そうだろう？
お前が身も心もワシの
ものになる日だからな

なあにワシらの
特別な思い出に
なるようにな

お、

お、



どうした？
昨日まであんなに
甲斐甲斐しく奉仕
してくれたじゃないか

あ、あれはただ
アンタを
気持ち良く――



なっ

大ニ言ってるの
ヨイツ

ドキッ



えっ...

アレ？
私今...
なんて...



くくくつ
順調に淫紋の
効果が出てい
るようだな

あ...アンタ
私に何を...

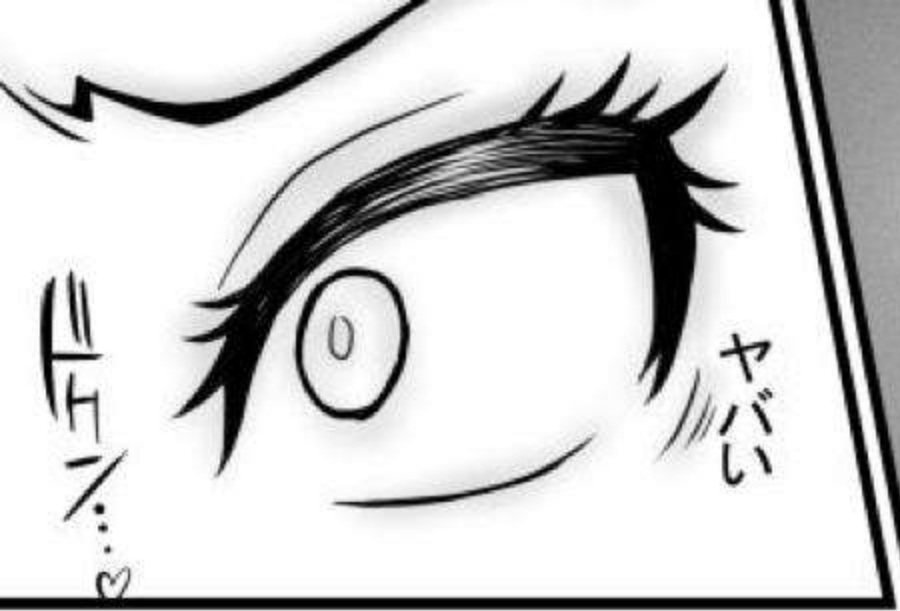
何もしておらんよ
それもその淫紋の
効果だ

強烈な発情状態で
性行為をすることで
相手を特別なオスと
認識するようになる

そして、お前さんは
無意識ですでにワシを
愛すべきオスとして
認識している

あとはその小賢しい
自意識を塗り替えて
やるだけだ……







助けてぶっ飛ばせ

おかしいの
私のカラダ

くくっ強情な女を
こうやって自分用の
メスに塗り替えるのは
何度やってもたまらんなあ

おろちん♡

おろちん♡



受け入れちゃってる！

コイツに種付け
されることって

こんなキモオヤジのこ
受け入れちゃってる
！

お

お



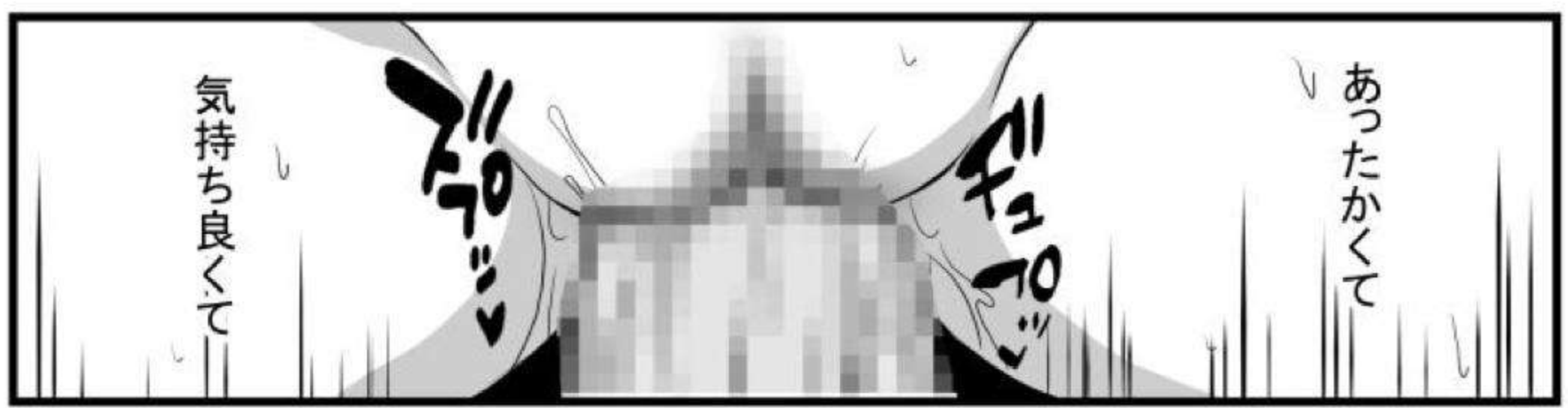
キス
だめ…

あゆ



やめて…
優しく抱かないで…

フッ
フッ
フッ



あったかくて

気持ち良くて

フッ
フッ



あああ

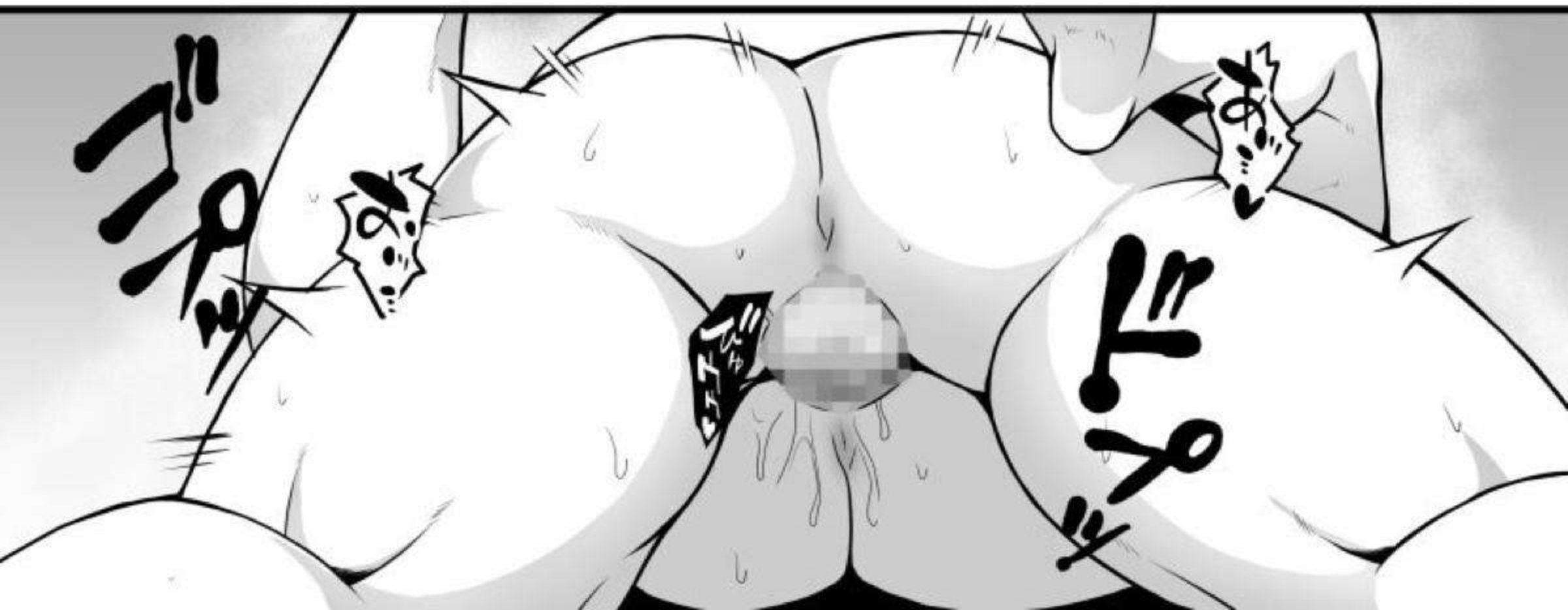
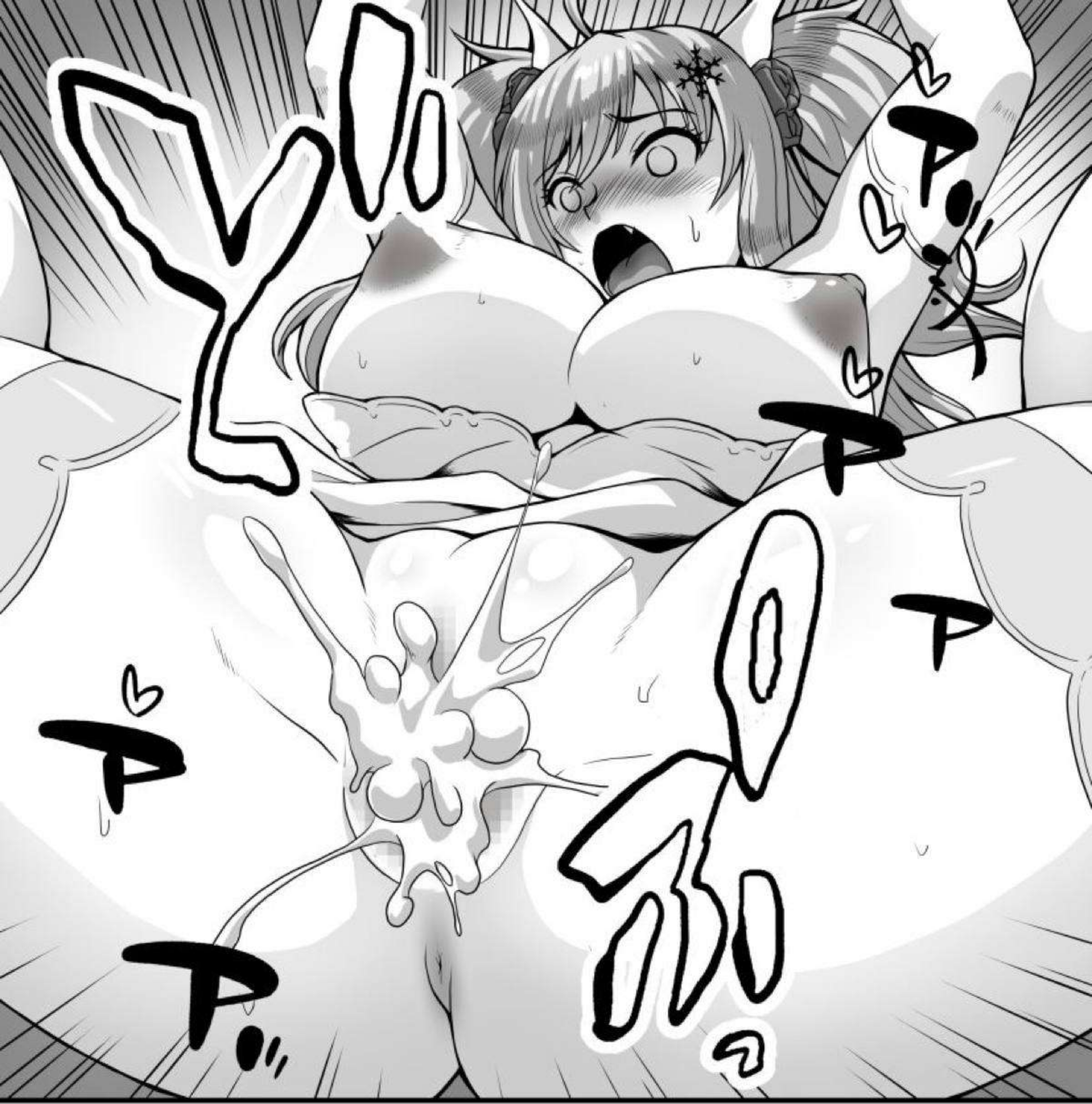
ふうまっ
アンタが私の中から
なくなっちゃう!!



はあっもう少しだ
出るぞ…!!

今中出しされたら
何もかも真っ白になる

フッ
フッ





私……

なんで気づかなかった
のかな……

キュ……



ああ……そうか……

愛してるぞ
きゅきゅ……



私ば

キゅ……

ねえ、もっと愛して……
もっともっと
幸せで満たされるように

この人を愛してるんだわ……♡♡

キゅ……



ああ……
もちろんだとも

数か月後

待たせてすまんな

キィ...

ふうまとかいう
小僧がお前のことを
嗅ぎまわって
いるらしい...

はっ

長いことお前に執着
しておるようだが
その姿を見たら
なんと云うかのう

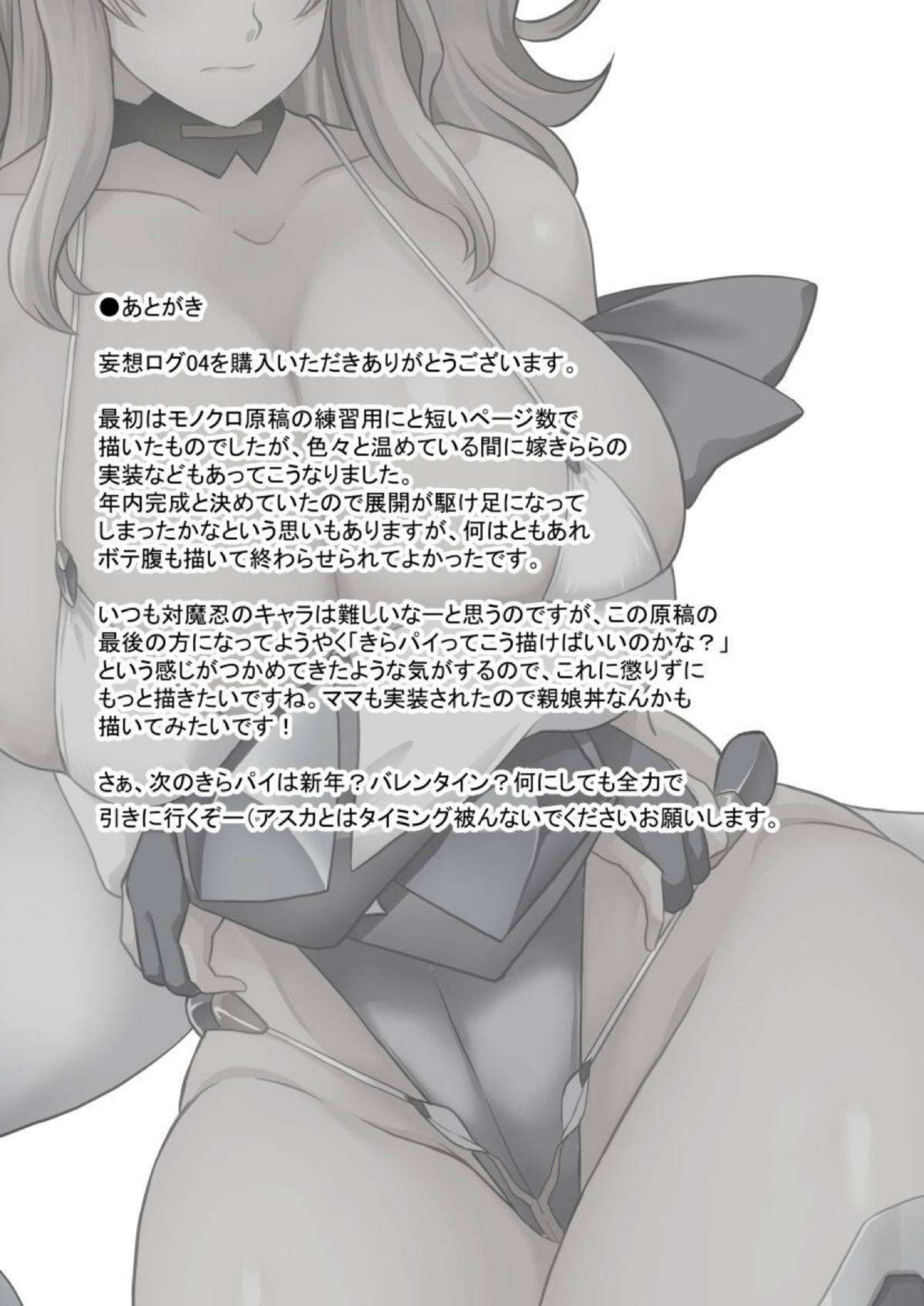
くくっ
愛してゐるぞ
きゅん

キキキ

ハハハ

おん





●あとかき

妄想ログ04を購入いただきありがとうございます。

最初はモノクロ原稿の練習用にと短いページ数で描いたものでしたが、色々と温めている間に嫁きららの実装などもあってこうなりました。

年内完成と決めていたので展開が駆け足になってしまったかなという思いもありますが、何はともあれボテ腹も描いて終わらせられてよかったです。

いつも対魔忍のキャラは難しいなーと思うのですが、この原稿の最後の方になってようやく「きらパイってこう描けばいいのかな？」という感じがつかめてきたような気がするので、これに懲りずにもっと描きたいですね。ママも実装されたので親娘井なんかも描いてみたいです！

さあ、次のきらパイは新年？バレンタイン？何にしても全力で引きに行くぞー(アスカとはタイミング被らないでくださいお願いします。



たじろ...

たじろ...

Blahhh

すり
すり

たじろ...

たじろ...

ぽろぽろ

ぽろぽろ